

ふじみまちと私たちの100年

「富士見」の名前の由来は、旧富士見村の名前からきていますが、明治9年に県へ提出された史料によると、「富岳巽に方(よ)り甲斐一國を距て廿里の遠望絶佳、詩客の感ずる處なり。又常には農夫耕耘の疲勞をわすれ、生涯を娛樂す、天然の風景なり、因て居民の欲する處より富士見村と號す・・・」(富士山を南東方向に見て、甲斐の国(現在の山梨県)をはさんで20里(約80km)、素晴らしい絶景が広がっており、詩人が感銘を受ける場所である。また、つねに農家の人々は畑仕事の疲れをわすれて生涯を楽しむ、天然の風景である。よって住民が希望するとおり富士見村と呼ぶ・・・)と村名の由来が記されています。

富士見町には長い歴史があり、そして私たち人類にも長い長い歴史があります。そこに私たちのあゆみも入れてみましょう。そして、お父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃん、ひいおじいちゃん・ひいおばあちゃん、親戚のおじさん、近所のおばさんなど、身近な人の歴史についても書いてみましょう。身近な人と話をしながら、そのころの出来事について聞くことで、新たな発見があるかもしれません。

富士見町の歴史			日本の歴史		わたし・お父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんの歴史		
西暦	和暦	できごと	時代	できごと	だれ	年齢	できごと
1912年	明治45(大正元)	富士見村駅前地区が富士見区として発足する	大正時代	明治天皇が没し、大正天皇が即位する			
1913年	(大正2)	落合村に富里区が発足する					
1914年	(大正3)	境村役場を高森に新築する		第一次世界大戦に参戦する			
1915年	(大正4)	富士見郵便局が富士見駅前に開局する		大阪豊中球場で全国中学校野球大会(後の全国高校野球選手権大会)が開かれる。			
1916年	(大正5)	富士見村・境村・乙事に電灯ともる(翌年に全町域まで広がる)					
1917年	(大正6)	木之間に信富生糸販売組合が設立される(諏訪地域最初の組合製)					
1918年	(大正7)	富士見ヶ丘に森林測候所が開設される 町内で足踏み脱穀機が使われるようになる					
1919年	(大正8)	富士見町域で初めての映画会が行われる					
1920年	(大正9)	富士見郵便局が電話交換業務を始める		国際連盟に加入する			
1921年	(大正10)	境村が信濃境駅新設の請願書を提出する					
1922年	(大正11)	鳥居龍蔵博士により坪平遺跡(別名:ドルメン類似遺跡)発掘される 瀬沢新田下原で第1回富士見競馬が開催される					
1923年	(大正12)	本郷村で立沢と乙事の両尋常小学校が廃止統合され本郷尋常小学校ができる		関東大震災			
1924年	(大正13)	富里の立沢橋陸橋ができる 犬養毅が富士見ヶ丘に白林荘をつくる					
1925年	(大正14)	富士見競馬が瀬沢新田から富士見(現白樺団地)に移され昭和7年まで開催される		普通選挙法と治安維持法が公布される			
1926年	(大正15)(昭和元)	株式会社富士見高原療養所(現在の富士見高原病院)ができる		大正天皇が没し、昭和天皇が即位する			
1927年	(昭和2)	諏訪南部実科中学校(現在の富士見高校)が設立される 本郷村役場と本郷小学校が新築される		金融恐慌が始まる			
1928年	(昭和3)	信濃境駅ができる (株)富士見高原療養所が経営不振により会社解散し、正木院長個人経営の結核療養所として再出発		第一回普通選挙			
1929年	(昭和4)	富士見駅前で大火災(全焼26棟、半焼・破壊4棟)					
1930年	(昭和5)	諏訪社(乙事)の拝殿・幣殿が国宝に指定される(1958年の火災で指定解除)		昭和恐慌が起こる			
1931年	(昭和6)	堀辰雄が高原療養所に入院する		満州事変			
1932年	(昭和7)	豪雨災害(釜無川で洪水)		五・一五事件(犬養毅が暗殺される)			
1933年	(昭和8)	境郵便局が信濃境に開局する		国際連盟脱退を通告する			
1934年	(昭和9)	「月よりの使者」が映画化され、富士見高原療養所などを中心に現地ロケが行われる					
1935年	(昭和10)	瀬沢新田の青年らが菊の栽培を導入、大正12年より本格的な栽培を					
1936年	(昭和11)	台風災害(上川・宮川が氾らん、乙事線に被害が出る) 富士見村・落合村で、ラチフスが猛威をふるう		二・二六事件			
1937年	(昭和12)	町域の農耕馬400頭あまりが軍用馬として徴発される 各小学校で応召兵士の見送りや勤労奉仕などが盛んになる		盧溝橋事件がおき、日中戦争に発展する			
1938年	(昭和13)	豪雨災害(釜無川が増水、工事中の堤防が流失する)		国家総動員法が公布される			
1939年	(昭和14)	豪雨災害(立場川増水、上葛木の国道が浸水被害を受ける)		第二次世界大戦が勃発する 日独伊三国同盟を結ぶ 日中戦争の影響で東京オリンピック開催権を返すする			
1940年	(昭和15)	豪雨災害(釜無川神代の堤防が決壊する) 米・小麦・ミノ・砂糖・塩・マッチなど10品目が切符配給制となる		太平洋戦争が始まる ミッドウェー海戦			
1941年	(昭和16)	豪雨災害(釜無川の堤防2ヶ所が決壊する)		召集や勤労動員が拡大される			
1942年	(昭和17)	富士見分村172世帯が満洲に移り住む★		米軍のB29爆撃機による本土空襲が始まる			
1943年	(昭和18)	満洲富士見分村本体の家族ほぼ全員が入植し、分村の体制が整う		広島・長崎に原子爆弾が投下される ポツダム宣言を受諾する			
1944年	(昭和19)	東京などからの緑故疎開者が増加する 空襲に備えて土蔵などの白壁を泥や炭などで塗る		日本国憲法が公布される 教育基本法が公布される			
1945年	(昭和20)	天候不順により凶作となり、笹の実を食料にする(諏訪一円から入笠山へ実の採集に来る)		東京裁判が行われる			
1946年	(昭和21)	富士見村・落合村の満洲開拓団からの引揚者らが南原山に移り住む★					
1947年	(昭和22)	文化ヶ丘病院が開設される 境村役場が火災で焼失する					
1948年	(昭和23)	乙事諏訪社の社殿で火災が発生し、ほとんどが燃えてしまう 富士見高原教会ができる					
1949年	(昭和24)	境村役場を信濃境に新築 富士見高原療養所を舞台とした「月よりの使者」が再映画化され主題歌が流行する		単一為替レート1ドル=360円が設定される(ドッジライン)			
1950年	(昭和25)	諏訪社(乙事)が復元され、国重要文化財に指定される このころ入笠山の鈴蘭ハイキングコースが有名になる 御柱祭で女性や子供が曳行に参加できるようになる 富士見保育園ができる 南原山区ができる		朝鮮戦争が勃発し、特需景気が起こる			
1951年	(昭和26)	長野県諏訪農学校の名前が富士見高校に変わる		日米安全保障条約に調印する			
1952年	(昭和27)	町域の各小学校が完全給食となる		講和条約が発効し、主権回復(占領終了)			
1953年	(昭和28)	藤内遺跡の発掘調査始まる 富士見村・本郷村・落合村により、組合立富士見高原中学校が新らしくつくられる	昭和時代	テレビ放送が開始される			
1954年	(昭和29)	諏訪地域の稲作が稲熱病と冷害により大凶作となる 第1回名勝勝訪駅伝大会が開催される		MSA協定に基づき自衛隊ができる 原水爆禁止世界大会 神武景気が始まる(～1957年) 国際連合(国連)に加盟する			
1955年	(昭和30)	富士見・落合・本郷・境の4カ村合併して富士見町になる		関門トンネルが開通する			
1956年	(昭和31)	富士見町商工会が発足する					
1957年	(昭和32)	第1回町民スケート大会が若宮の御所島池で開催される 文部省委嘱の婦人学級を開設(全国4ヶ所の中に富士見町が選ばれ		東京タワーが完成する			
1958年	(昭和33)	井戸尻遺跡の発掘調査始まる 落合中学校と境中学校を統合し南中学校ができる		ミッチーブーム			
1959年	(昭和34)	台風7号による千が沢の山津波が発生(死者18名・行方不明1名、全壊3戸・流失9戸・半壊232戸・浸水416戸)、武智川も氾らん(1戸流失) 井戸尻遺跡保存会による井戸尻考古資料館が境支所に開館する		安保闘争が激しくなる カラーテレビの放送が始まる			
1960年	(昭和35)	信濃境に小林医院が開業する 一般農家に耕転機が普及し始め、馬の飼育が急激に減少する					
1961年	(昭和36)	豪雨災害(床下浸水100戸) 凍霜害(水田及び畑等500ha) 干害(水田300ha)		所得倍増計画が始まる			
1962年	(昭和37)	立沢区の米作りグループが一反あたりの収穫量日本一を獲得する(6石5斗0升1合、翌1962年ともに2年連続日本一)					
1963年	(昭和38)	第1次農業構造改造事業が始まる 上水道の工事が始まる		東京の人口が1000万人を突破する 初の国産電子複写機が完成する アニメ『鉄腕アトム』放送開始 オリンピック・パラリンピック東京大会が開かれる			
1964年	(昭和39)	富士見町社会福祉協議会ができる 中央東線の甲府から上諏訪の間に機関車から電車に変わる		日韓基本条約に調印する			
1965年	(昭和40)	町内4つの農協が合併し富士見町農業協同組合ができる 台風24号による水害(松目沢・とちの木汐増水、先達庫の沢決壊)		いざなぎ景気が始まる(～1970年)			
1966年	(昭和41)	井戸尻遺跡が国(史跡)の指定を受ける 台風4号による水害(乙見川増水、花場の山腹崩壊)		公害対策基本法が制定される 小笠原諸島が日本に返還される 『信濃の国』が長野県歌に指定される 東大安田講堂の封鎖が解除され大学紛争沈静 大阪万博が開かれる			
1967年	(昭和42)	中央線富士見～青柳間の複線化工事が始まる		沖縄返還協定が調印される 冬季オリンピック札幌大会が開かれる 神縄が日本に返還される あさま山荘事件が起きる			
1968年	(昭和43)	カゴメトマト工場ができる		第1次石油危機(オイルショック)			
1969年	(昭和44)	富士見小学校で集団赤痢が発生(患者数460人【家族含む】)		元日本兵小野田寛郎少尉が帰国する コンビニ1号店が開店			
1970年	(昭和45)	中央道富士見町内全線ルート(11.26km)が発表される		第1回先進国首脳会議(サミット)に参加する			
1971年	(昭和46)	ハケ岳保健休養地に八峯苑がオープンする		ロッキード事件 日航機ハイジャック事件が起きる 気象衛星「ひまわり」が打ち上げられる 日中平和友好条約が締結される 第2次石油危機(オイルショック) 日本自動車の生産台数が世界一位になる アメリカとの間に貿易摩擦がおきる			
1972年	(昭和47)	曾利遺跡出土の水煙渦巻文深鉢の図柄が10円はがきの料額印面意匠に採用される		500円硬貨が発行される テレホンカードが発売される			
1973年	(昭和48)	三菱鉱業のセメント工場開設(塚平区)について町民から強い反発運動がおこり、工場計画再検討を余儀なくされる	平成時代	東京ディズニーランドが開園する			
1974年	(昭和49)	現在の井戸尻考古館ができる 富士見町民俗資料館が境連絡所の中にできる		グリコ森永事件が起きる 日本の平均寿命が男女とも世界一になる 電報公社が民営化されてNTTが発足する 日本航空123便墜落事故が発生する			
1975年	(昭和50)	西伊豆町と姉妹町締結をする 曾利遺跡より出土の「縄文土器土器7点」が長野県宝に指定される		パブル景気が始まる 男女雇用機会均等法が施行される 国鉄民営化されJRIになる 青函トンネルと瀬戸大橋が開通する 昭和天皇が没し、平成天皇が即位する 消費税(3%)が実施される			
1976年	(昭和51)	桜ヶ丘区ができる					
1977年	(昭和52)	フレンドシップセンター(現在の町民センター)できる					
1978年	(昭和53)	中央線富士見～小淵沢間の複線化工事が始まる					
1979年	(昭和54)	富士見町環境保全条例が施工される					
1980年	(昭和55)	諏訪精工舎(現在のセイコーエフワン)富士見工場ができる					
1981年	(昭和56)	中央自動車道の諏訪南インターができる					
1982年	(昭和57)	台風10号で釜無川に「ミニグランドキャニオン」が出現、松目の前川が氾らんし14戸床下浸水、白樺団地の土砂崩壊(死者2名)					
1983年	(昭和58)	台風5号による水害(床下浸水39戸、河川氾濫24箇所ほか) 台風10号による水害(上葛木釜無川堤防決壊)					
1984年	(昭和59)	富士見高原スキー場がオープン 大寒波(道路9箇所に被害)					
1985年	(昭和60)	すずらんの里駅ができる					
1986年	(昭和61)	多摩市と友好都市を締結する 現在の富士見町歴史民俗資料館ができる					
1987年	(昭和62)	富士見パノラスキー場がオープンする					
1988年	(昭和63)	現在の富士見町役場が完成する					
1989年	(昭和64)(平成元)	「創造の森」の建設が始まる					
1990年	(平成2)	ナウマン象臼歯化石が落合矢ノ沢流域で発見される 富士見町ではじめて温泉発掘に成功する(現在のゆーとろん)		景気拡大幅が史上2位となる			
1991年	(平成3)	「そば処おっこと亭」オープン		バブル経済が崩壊する 雲仙普賢岳が噴火し火砕流が発生(長崎) PKO協力法案が成立する			
1992年	(平成4)	富士見パノラスキー場が増設拡張する 「ふれあいセンターふじみ」がオープンする					
1993年	(平成5)	川崎市と友好協定を締結する リッチモンド市(ニュージールランド)と友好都市を締結する	平成時代	Jリーグ開幕する			
1994年	(平成6)	コミュニティプラザができる					
1995年	(平成7)	県営高原産業団地の造成が始まる		松本サリン事件 阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 O-157が猛威を振るう			
1996年	(平成8)	諏訪6市町村で災害時の相互応援協定が締結される 結核予防で富士見町が優良団体表彰を受賞する		消費税が5%になる			
1997年	(平成9)	富士見町のホームページができる 富士見町のシンボルマークとマスコットキャラクターが決まる		冬季オリンピック・パラリンピック長野大会が開かれる 携帯電話が急速に普及し「090～」の11桁番号が登場する ハッピーマンデー制度が導入され大型連休が増える			
1998年	(平成10)	オアシス道路開通する					
1999年	(平成11)	道の駅「信州葛木宿」がオープンする					
2000年	(平成12)	諏訪広域連合が発足する					
2001年	(平成13)	「ジュネスハッケ岳」がオープンする 南中学校の給食が文部科学大臣賞を受賞する		大阪府池田小学校児童殺傷事件 日朝平壤宣言(拉致被害者が帰国) FIFAワールドカップ日韓共同開催			
2002年	(平成14)	藤内遺跡出土品が国の重要文化財に指定される 西山保育園が開設する		自衛隊イラク派遣決定(戦間下で初)			
2003年	(平成15)	諏訪6市町村への合併についての意志を問う住民投票が行われ、反対票が2/3となる		新潟中越地震 大規模国際博覧会「愛・地球博」が愛知県で開催される			
2004年	(平成16)	路線バスが廃止され、すずらん号の運行が本格化する					
2005年	(平成17)	「関東の富士見百景」に選ばれる					
2006年	(平成18)	立沢大橋が開通する 特定希少動植物「アツモリソウ」が入笠山で発見される		日本の総人口が減少局面に入る			
2007年	(平成19)	アツモリソウ保護条例が制定される		郵政事業が民営化される			
2008年	(平成20)	富士見町地域スポーツクラブが発足する		リーマンショックが起きる			
2009年	(平成21)	同刻無線・告知放送(現在の有線放送)の運用が開始される 「北通り線」(ゆめひろは前の道)が開通する		裁判員裁判制度の運用が開始される			
2010年	(平成22)	富士見町立高原中学校と南中学校を統合し、富士見中学校が開校する		尖閣諸島沖で中国漁船衝突 惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに帰還 東日本大震災・原発事故 FIFA女子ワールドカップで日本女子代表が優勝			
2011年	(平成23)	渡辺別荘跡地を町が取得し「ふじみ分水の森」へと整備を始める					
2012年	(平成24)	落合小学校が開校する					
2013年	(平成25)	平岡・烏帽子住宅団地用地に富士見メガソーラーが完成する		2020年夏季オリンピック・パラリンピック開催地が東京に決まる 御岳山が噴火する			
2014年	(平成26)	豪雪災害(各道路が通行止めになり帰宅困難者が出る) 入笠山を含む南アルプスがユネスコエコパークに認定登録される					
2015年	(平成27)	坂上遺跡出土の土偶が国の重要文化財に指定される 「富士見森のオフィス」がオープンする		マイナナンバー制度がスタート			
2016年	(平成28)	カゴメ株式会社と富士見町が農業連携事業をスタートさせる		熊本地震			
2017年	(平成29)	井戸尻遺跡周辺の景観が「信州ふるさとのみえる(丘)」に認定される 介護予防運動スポット「おたっしや広場」がオープンする		天皇退位を2019年4月末と決定			
2018年	(平成30)	富士見町を含む14市町村が「1星降る中部高地の縄文世界」として日本遺産に認定される ゆめひろは富士見がオープンする 「信州の特色ある縄文土器」として井戸尻考古館の土器5点が長野県宝に指定される		民法改正され、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられる			
2019年	(平成31)(令和元)	「カゴメ野菜生活ファーム富士見」がオープンする 台風19号により、町で初めての避難勧告が出される		平成天皇が退位し、令和の時代へ			

※日本の歴史および世界の歴史は、富士見町のできごとに近い年代のものについて、中学校の教科書にのっているものを中心に書きました。富士見町のできごとと関係が深いものは→で結んであります。
※富士見町の歴史の中で**重要なものは赤字**、**指定文化財に関するものは緑字**、**災害等は青字**にしています。